

4. 付加価値額（従業者 30 人以上）

付加価値額は 6,929 億円で、前年に比べ 76 億円の減少（▲1.1%）となった。

（1）産業別状況

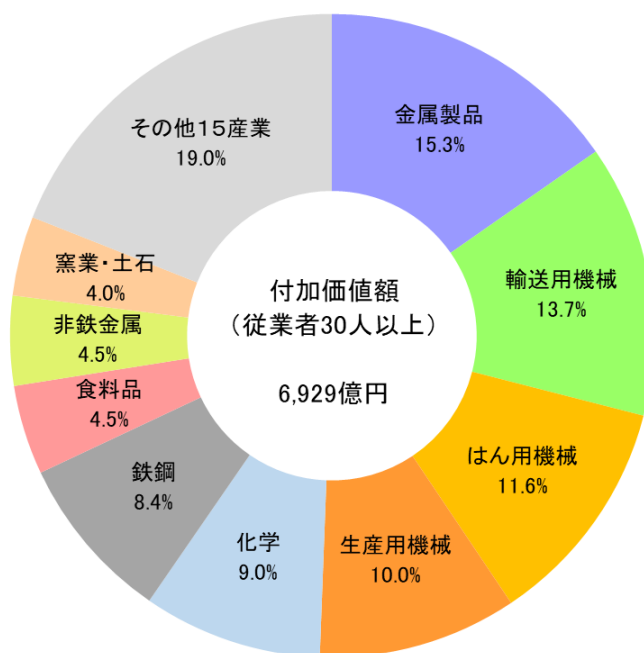
【産業別構成比】

17 産業（秘匿産業等を除く）のうち、金属製品（1,058 億円、15.3%）、輸送用機械（948 億円、13.7%）、はん用機械（803 億円、11.6%）などの順となっている。

【産業別前年比較】

17 産業（秘匿産業等を除く）のうち、電子部品（103 億円、104.2%）、食料品（95 億円、43.3%）、プラスチック製品（72 億円、176.8%）など 8 産業で増加し、金属製品（▲174 億円、▲14.1%）、生産用機械（▲37 億円、▲5.1%）窯業・土石（▲31 億円、▲10.0%）など 9 産業で減少している。

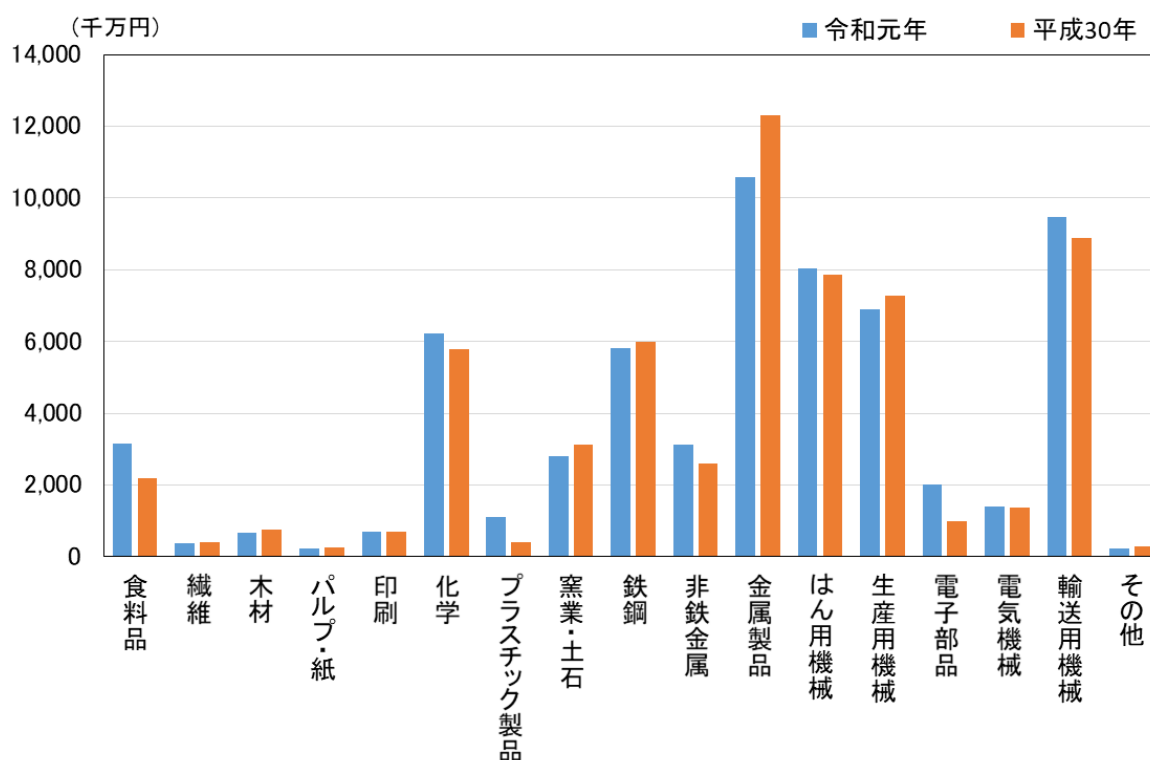
第 20 図 付加価値額の産業別構成比（従業者 30 人以上）



注：

- ・秘匿産業：家具、石油・石炭、ゴム製品、なめし革、業務用機械、情報通信機械
- ・秘匿産業の構成比は、その他 15 産業に含まれている。
- ・該当がない産業：飲料・たばこ

第 21 図 付加価値額の産業別前年比較（従業員 30 人以上）



注：

- ・ 秘匿産業：家具、石油・石炭、ゴム製品、なめし革、業務用機械、情報通信機械
- ・ 該当がない産業：飲料・たばこ

(2) 従業員規模別状況

従業員規模別構成比は、大規模層（4,039 億円、58.5%）、中規模層（2,890 億円、41.7%）の順となっている。

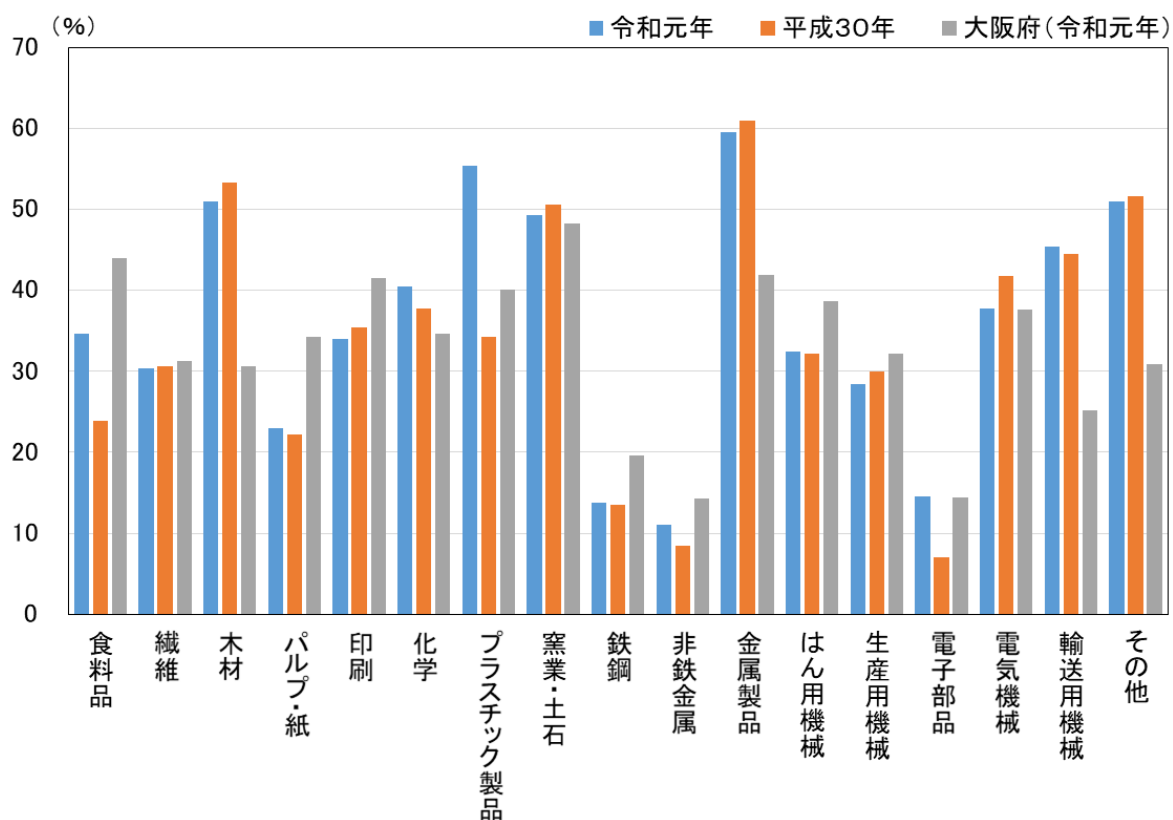
従業員規模別前年比較は、大規模層が 364 億円（▲8.3%）の減少、中規模層が 287 億円（11.0%）の増加となっている。

(3) 付加価値率

産業全体の付加価値率は 22.6%となっている。

産業別では、17 産業（秘匿産業等を除く）のうち、金属製品（59.5%）、プラスチック製品（55.3%）木材（51.0%）、その他（51.0%）などの順となっている。付加価値率の低い産業は、非鉄金属（11.0%）、鉄鋼（13.8%）、電子部品（14.5%）などの順となっている。

第 22 図 付加価値率の産業別前年比較（従業員 30 人以上）



注

- ・秘匿産業（堺市）：家具、石油・石炭、ゴム製品、なめし革、業務用機械、情報通信機械
- ・該当がない産業（堺市）：飲料・たばこ